

建物及び設備の主な石綿使用状況（2019年3月31日現在）

対象	使用箇所	使用状況	対応状況	
吹付け石綿※1	自社建物 ・事務所建物の設備機器室/ 予備電源室 ・変電所の変圧器室 ・発電所※2	39（38）棟	・吹付け石綿を利用している自社建物は、封じ込め等の飛散防止対策済み ・吹付け石綿は通常、施錠した室内のため、第三者の接触などによる飛散の恐れなし ・定期的に劣化度調査・浮遊濃度測定を行い、安全を確認	
	供給用変圧器室 ・供給用変圧器室などの壁面や天井	5（5）ヶ所		
石綿含有製品	保温材	発電設備など （火力設備、原子力設備など）	約 3（5）万m ³	・成形品のため、通常状態で飛散性なし ・定期検査や修繕工事などの機会に非石綿製品へ取り替える
	シール材 ジョイントシート	発電設備など （火力設備、原子力設備など）	約 60（60）万個	
	あて板	一般家庭の一部の アンペアブレーカの裏側	約 95（95）万個	・お客さま宅内に取り付けた設備で、昭和63年以前製造の単相2線式30Aブレーカーの裏側に「あて板」として使用されているものがある ・成形品かつ金属板に覆われているため飛散性はなし ・使用上、安全には問題ないが、お客様のご要望に応じて改修している
	その他	・上記以外にも石綿を含んだ建材、防音材、耐熱・耐火板などを建物および設備に使用 ・いずれも成形品であったり、機器の内部で使用など、通常状態で飛散性はないが、定期検査や修繕工事などの際に、非石綿製品へ取り替える		

括弧内の数字は昨年実績(2018年3月31日)

※1:吹付け工法により施工された石綿含有仕上塗材については、本集計対象外。

※2:集約方法変更により追加

東京電力グループの合計。東京電力グループとは、東京電力ホールディングス、東京電力パワーグリッド、東京電力フュエル&パワー、東京電力エナジーパートナーの4社を示す。

石綿に関する労災等認定状況

2019年3月末日現在

【社員】

労災認定 2018年度新規発生者なし

	人数	事業場	備考
死亡	24(23)名	火力発電所 16名	中皮腫 7名
			肺がん 7名
			肺扁平上皮がん 1名
			間質性肺炎 1名
		水力発電所 変電所 1名 2名	中皮腫 1名
			中皮腫 1名
支社 5名	肺がん 1名		
	中皮腫 3名		
療養中	2(2)名	火力発電所 2名	中皮腫 2名
			肺がん 2名
療養中	2(2)名	火力発電所 2名	良性石綿胸水 1名
			肺がん 1名

「石綿による健康被害救済に関する法律」に基づく特別遺族給付認定

	人数	事業場	備考
死亡	2(2)名	火力発電所 2名	肺がん 1名
			石綿肺 1名

() は元社員再掲

【グループ会社 (30社)】

(労災認定)

	人数	事業場	備考
死亡	19(17)名	火力発電所 6名	中皮腫 3名
			肺がん 3名
		屋内配線現場 10名	肺がん、中皮腫 1名
			中皮腫 4名
			肺がん 3名
		電力機器製造工場 築炉関連作業 2名 1名	びまん性胸膜肥厚 1名
肺がん 2名			
療養中	11(10)名	原子力発電所 1名	肺がん 2名
			火力発電所 2名
		土木・地中配電現場 1名	中皮腫疑い 1名
		地中配電現場 1名	中皮腫疑い 1名
		屋内配線現場 6名	中皮腫 2名
			びまん性胸膜肥厚 2名
			良性石綿胸水 1名
		肺がん 1名	

「石綿による健康被害救済に関する法律」に基づく特別遺族給付認定

	人数	事業場	備考
死亡	1(1)名	屋内配線現場 1名	肺がん 1名

() は元社員再掲

- ※ グループ会社は、グループ会社の労災保険が適用になるもの
(グループ会社社員・元社員、およびグループ会社の協力会社社員・元社員)

(参考) 労災申請中のもの

【社員】

	人数	事業場	備考
死亡	1(1)名	火力発電所 1名	中皮腫 1名
療養中	1(1)名	火力発電所 1名	肺がん 1名

【グループ会社 (30社)】2018年度新規申請者なし

	人数	事業場	備考
死亡	1(1)名	屋内配線現場 1名	不明 1名
療養中	4(3)名	屋内配線現場 1名	胸膜肥厚、肺腺維症 1名
		火力発電所 1名	肺腺がん、胸膜プラーク 1名
		事務室内 1名	不明 1名
		不明 1名	不明 1名

() は元社員再掲

- ※ グループ会社は、グループ会社の労災保険が適用になるもの
(グループ会社社員・元社員、およびグループ会社の協力会社社員・元社員)

以 上